



Donald McDonald House  
Charities Japan

Annual Report 2009

2009年 年間報告書



## わたしたちを支えてくださっている皆様へ

### 暗闇の中に見えた一筋の光

私には3人の子供がいます。長女せな、長男りく、次男のしゅんです。ちょうど7・5・3歳です。長女、長男は何事もなく生まれ、次男の出産の時も3人目ということもあり、特に心配もありませんでした。出産は毎回、徳島に里帰りして行い、次男の時も地元の産婦人科にお世話になりました。

しゅんは平成19年3月24日、予定日の2日後の早朝、普通分娩(3,468kg)で無事生まれました。直後、先生から「赤ちゃんの様子がおかしいので大きな病院で診てもらったほうが……」との話があり、「え? 病気?」と、事の重大さに急に足が震えたことを今でも覚えています。タオルに包まれた赤ちゃんの顔をちょっと見ることができたものの、

赤ちゃんは直ぐに、近くにある徳島市民病院に運ばれていきました。詳しく聞くと、「心臓の雑音が聞こえ、手足の指が水かきのようにくっついている」



との話でした。市民病院で詳しく調べてもらった結果、心臓の雑音は特に問題ないとのことでした。

産婦人科の先生からは「アペール症候群」ではないかと言わっていましたが、市民病院での診察結果でも、頭蓋骨の早期癒合症と手足の合指症、口蓋裂がみられ、アペール症候群に間違いないことが分かりました。同じ症例はあまり多くなく、また治療には長い期間を要するので、地元(宮城県)の病院での治療を勧められましたが、最善の治療ができるのであれば宮城に限らず、県外でも構わない、と伝えたところ、紹介していただいたのが「国立成育医療研究センター」だったのです。

不安と期待の中、生後3週目に成育医療研究センターの総合診療科で診察を受けましたが、「治療するにもまだ小さすぎるのでは3ヶ月後くらいから治療を始めましょう」とのことでした。

手術が始まれば長期間の入院が必要になるので、ホテルやマンションから通うことも考えましたが、その場合かなりの負担を強いられることになり、やりくりを続けていくことができるのかとても心配でした。そんなとき、主治医の先生から「ドナルド・マクドナルド・ハウス」の事を教えていただき、私たちに一筋の光が見え始めました。





の先生方をはじめ、医療スタッフに恵まれた環境の中で、毎回何の不安もなく安心して手術に送り出すことができ、これまで順調に治療を受けることができました。

生後5ヶ月から頭蓋骨の延長手術を始めました。頭蓋の前後の延長を5回繰り返し、手足の合指症分離手術を6回受けました。頭蓋の手術で装着した金具が不具合で、再手術したことまで一度ありましたが、11回もの手術を受けながら、感染症や傷口の癒着が一度もなく、医療技術と本人の治癒力には毎回驚かされました。

## 「ハウス」第2の我が家

親は我が子の病気を治そうと、必死の気持ちで最善・最良の専門治療を求め、全国各地から成育医療研究センターに集まっています。親は治療のために子どもを励まし、心配し、悩み、1日中病院で子どもの心に寄り添い、切磋琢磨します。前進することもあれば後退することもあり、正直、心身ともに疲れてきてしまいますが、そして子どもが寝た後に、ようやく非日常の病院生活から“第2の我が家”である「ハウス」に帰るのです。

「ハウス」は病院の敷地内にあり、外の空気に触れることができます。玄関では季節の草花が優しく滞在者を出迎え、その美しい色や形、匂いが癒してくれます。お掃除の行き届いたキッチンで気持ちよく料理をし、あたたかいごはんを食べることができます。ホテルのようにきれいなお部屋、ベッドのキルト、手芸品に、ボランティアの方々のあたたかい心を感じ、ゆっくりとお風呂につかり、ベッドでゆっくりと休むことができます。また、ハウス内で同じ境遇にあるお母さん方と知り合い、ともに話し共感し励ましあえることが、心の支えになりました。

また、ボランティアの方にお話を聞いていただき、いつも明



あれから3年、しゅん(駿)は本当に頑張りました。小児医療の最先端を行く成育医療研究センターの各担当科(総合診療科・麻酔科・脳神経外科・整形外科・形成外科)

るく「いってらっしゃい」「体に気をつけてね。ママの体は大事よ」となどと、声をかけていただくことがとても嬉しく、「本当にありがとうございました」といつも感じておりました。

長期入院の際には、地元で寂しい思いをさせている娘と長男もハウスに滞在し、家族一緒に過ごす貴重な時間も与えてもらいました。そして退院まで頑張ることができました。



## もっと多くの方が「ハウス」を利用できれば

私は、心も身体もハウスのおかげで癒され、次の日も子どもと笑顔で過ごすことができました。

毎月の外来。3ヶ月に1回ペースの手術入院。家族と離ればなれになって初めて、家族と一緒に、普通に暮らせることがどんなに尊く、大切なことだと気づかされました。つらい思いもたくさんしてきましたが、1回1回、家族みんなで力を合わせて乗り切ってきました。

本当に多くの方々の支えと「ハウス」があったからこそ、安心して続けてこられたと、感謝の気持ちでいっぱいです。滞在費用の負担がないと考えるだけでも、とても助けられました。

これからもまだ治療は続きますが、感謝の気持ちを忘れず、家族みんなで前を向いて一步ずつ頑張っていこうと思います。

人は人によって生きられているのだ、という大切なことを、しゅんの治療を通して教えられたような気がします。

私も、たくさんの方々に支えていただいた分、これから何かお役に立てるようなことをしたいと考えています。

## 素晴らしい「ハウス」の理念

「一般社会からの善意の寄付とボランティアにより、難病にかかる小児の家族を支援する家庭的な環境を病院の近くに作る」という理念は、とてもすばらしいものだと思います。

今の私たちがあるのは「ハウス」のおかげです。まだまだ病と闘っている家族はたくさんいます。そうした家族を支え、癒してくれるハウスの存在はとても大きいものだと思います。

最後になりましたが、私たち家族を支えてくださったハウスの皆様、ボランティアの皆様、そして寄付など、善意をいただいた多くの方々に、あらためて感謝の言葉を捧げます。

本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願ひいたします。

2010年3月22日

古 積 優 子

# Contents 目次

- 1 Letter from the Family  
ご家族からの手紙
- 4 Donald McDonald House Charities Japan  
公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンについて
- 5 Messages  
ご挨拶
- 8 House Information  
ハウス活動内容
- 15 Messages from the Families  
ご家族からのメッセージ
- 17 Volunteer Activities  
ボランティア普及活動
- 19 Grant & International Exchange Programs  
助成事業および国際交流、国内外研修派遣事業
- 21 Topics 2009  
財団活動トピックス 2009
- 29 Others  
いろんなサポート
- 31 Messages from Supporters  
応援メッセージ
- 33 Financial Report  
決算報告
- 36 Board of Directors, Councilors and Selection Members  
役員・選考委員の紹介
- 37 Our Supporters  
サポーター紹介



# Donald McDonald House Charities Japan

公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンについて

## 財団設立の趣旨

現在、難病に苦しむ子どもの数は全国で 20 万人に及んでおり、その難病の子どもを持つ家族まで数えると、悩んでいる人はその数倍もいることでしょう。これらの家族は、子どもが入院すると、自宅と入院先との二重生活による経済的な負担、家族が離れて暮らす精神的苦痛など、大きな負担に悩まされることになります。

このような家族を少しでも支援するために、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは設立され、子どもが入院する病院の近くに家族が安心してくつろげる滞在施設を建設し、ボランティアによって運営するという活動をしています。ドナルド・マクドナルド・ハウスは世界的な広がりを持つ活動で、現在、世界には 300 近いハウスがあります。

以上のように、この公益財団は、患者家族の負担を社会全体で支援する仕組みづくりに寄与することを目的としているのです。



## 財 団 の 概 要

名 称：公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

所 在 地：東京都新宿区西新宿 6 丁目 5 番 1 号 新宿アイランドタワー 39 階

目 的：本財団は、難病およびその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成並びにその家族等に対し必要な施設の設置等の措置を講じ、その有効適切な運営を行うこと等により、もって地域社会における支援体制の確立に寄与することを目的とする。

事 業：  
①難病児及びその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成事業  
②福祉、医療分野等におけるボランティアの国際交流、国内外研修にかかる助成事業  
③前号におけるボランティア活動を振興するための普及啓発事業  
④難病児及びその家族等のための滞在施設の設置、運営及び助成  
⑤その他前条の目的を達成するために必要と認める事業

設 立：平成 11 年 4 月 1 日

主務官庁：内閣府

# Messages ご挨拶



公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

理事長 開原 成允

Shigekoto Kaihara

Chairman

Donald McDonald House Charities Japan

日本でドナルド・マクドナルド・ハウスの活動が始まってから今年で11年を迎えておりますが、着実にその実績を積んでまいりました。2009年にはその実績が評価され、公益財団法人として認可されて一つの転機となりました。これも皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げ、気持ちを引き締めて運営にあたってまいる所存です。

ハウスの事業は、最初の「せたがやハウス」が3年間の準備期間を経て難産の末生み出されてから8年が経ちますが、2009年末までに6つのハウスが急ピッチで整備され、延べ13,000以上のご家族に利用していただいています。さらに2010年春には東京都にもう一つのハウスがオープンし合計で7つのハウスが病気のお子さんとそのご家族を支援することになっています。小児医療の専門化に伴い、今後ますます医療圏が広がることが予想されますが、それに伴い遠隔地から入院される患者さんも多くなります。こうした患者さんの家族を支えるのがドナルド・マクドナルド・ハウスです。毎日厳しい状況下で付き添いにあたっているご家族に少しでもくつろいていただきたい、そして笑顔で入院中のお子様に接していただきたい、という思いを一杯にして1,000人を超えるボランティアの方々がハウスの運営を支えてくださっています。

ハウスを整備しそれを運営していくには莫大な費用がかかります。日本マクドナルド株式会社はじめ多くの企業からのご寄付、個人から頂戴する浄財、マクドナルドの店舗内の募金箱に入れてくださる善意。これらすべてのおかげでハウスは成り立っています。一方でハウスを必要とされている方々はまだ沢山あり、財団は、今後も不断の活動を継続していかなければなりません。私たちは、今後とも病気のお子さんとそのご家族のために努力していく所存ですので、一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

It has been 11 years since the Donald McDonald House Charities Japan started in Japan. Since its establishment, the organization has steadily delivered results and was authorized as a public interest incorporated foundation by the government to reward the achievements in 2009. I would like to express my deep gratitude for your assistance in these years and will collect my wits about one for successful operation of the Houses.

During the 8 years since Japan's first Donald McDonald House, "Setagaya House" was opened after 3 challenging years of preparation, 6 Houses including the first House were constructed at a very fast pace by the end of 2009, and have served over 13,000 families in total. In spring 2010, another House in Tokyo opened and a total of 7 Houses are supporting children suffering diseases and their families. With increased specialization of pediatric care, each pediatric medical institution is expected to serve a wider area and more children will be hospitalized in institutions distant from their homes. Donald McDonald Houses are here to help these children and their families. More than 1,000 volunteers are involved in activities at the Houses to support these children and families out of their earnest desire to make sure these families supporting ill children under sever conditions everyday can feel secure and take care of their hospitalized children with smile.

Vast expenses are required to maintain and operate these Houses. Donations from many companies including McDonald's Japan and individual contributors as well as contributions from customers in donation boxes in McDonald's restaurants help keep the Houses operating. Yet we must continue our efforts in promoting these activities since there are still many people who need our service. We will continue to support ill children and their families, and in this mission, humbly ask for your sustained support.



公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン  
専務理事 廣瀬 修

Osamu Hirose

Chief Executive Director

Donald McDonald House Charities Japan

私は長年米国で仕事をしていた関係で、米国では法人でも個人でもボランティアに参加して、地域活動に貢献するということがごく日常的に行われているのを目の当たりにしてまいりました。また日本においてもボーイスカウトをはじめ、数多くのボランティア活動に参加してまいりましたが、このドナルド・マクドナルド・ハウスの活動に参加するようになり、その活動はまさに米国的な相互扶助そのものであること、その理念がそのまま日本で踏襲されていることに多少の驚きと感動を覚えたものです。米国で生まれた理念が、いまや世界中で約300のハウスを誕生させるまでの大きな力に育っています。

将来を担う子ども達が健康でこやかに成長することは、誰しも抱く切実な願いですが、不幸にして病気になったお子さんが沢山いらっしゃることも事実です。そのお子さんとご家族を「自分のできる範囲」で支援していくことは素晴らしいことです。そしてその活動の根幹をなすものが、ハウスを建設・運営していく上で不可欠な「募金」と、運営にご協力いただく「ボランティアの皆様の力」です。その2つがハウスの事業を大きく育てます。日本にもまだまだハウスを必要としているお子さんとご家族があります。重い病気と闘っているお子さんとそのご家族を一人でも多く支えるため、日頃からご支援をいただいている多くの企業や個人の方々に心からの感謝を申し上げるとともに、今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。

日本でも財団法人としての11年間の活動実績が評価され、このたび内閣府から公益財団法人の認可を受けるに至りました。今までご協力、ご支援頂いた多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

As I worked in the United States for a long period of time, I noticed that many people participate, both as companies and as individuals, in community activities as volunteers on a daily basis. In Japan as well, I have participated in the Boy Scouts and other numerous volunteer activities. Since participating in the Donald McDonald House activities, I have realized that the Donald McDonald House activities are truly activities of mutual assistance and cooperation such as I saw in the U.S., and I was a little surprised and really impressed to know that this philosophy of mutual support is truly in practice in Japan. This philosophy, born in the U.S., is now developing into a powerful force that has given birth to around 300 Houses around the world.

While we all wish earnestly that children, who are our future, will stay healthy and grow happily, there are actually many children suffering illness. And how wonderful it is to support such ill children and their families by "doing what we can." A core foundation of such activities consists of the monetary contributions that are essential in building and operating the Houses, and the power of the volunteers who cooperate in their operation. These two factors are significantly helping the activities of the Houses. Many children and families still need Houses in Japan. I would like to express my deepest gratitude to every company and individual who has supported us in helping as many children fighting serious diseases and families as possible and to ask for their continued support.

In Japan as well, the 11 years of our activities as a foundation have been recognized, leading to the Cabinet Office's approval of the foundation as a public interest incorporated foundation. Please accept my sincere thanks for your cooperation and support.



小児医学研究振興財団

理事長 鴨下 重彦

Shigehiko Kamoshita

President

Japan Foundation for Pediatric Research

現在「医療崩壊」などと呼ばれていますが、国際的にみれば日本の健康水準は、乳児死亡率は世界最低、平均（健康）寿命は世界最長を達成し、世界に誇るべきものとなっています。しかしその一方で少産少子化が急速にすすみ、いまだかつて経験したことのない超少子・超高齢化社会に突入しています。その中で虐待やいじめなどが社会問題化しており、不登校をはじめ心身症の激増や少年犯罪など、子どもをめぐる問題はかつてないほどの深刻さを極めております。このような状況のなかで、国の持続可能な発展をもたらし、世界人類の福祉に貢献するためには、子ども達の健全育成以外に道はありません。

子どもが病気になったとき、一番頼りになるのは家族と医療の「両輪の力」です。その観点から、貴財団が推進しておられる、病気の子どもとその家族を支援するドナルド・マクドナルド・ハウスの事業は、今や最も大切な貢献といえましょう。入院する病気の子どものそばに寄り添う家族が心丈夫で元気であることが、病気の治癒上のキーポイントであることは言うまでもありません。もう一つのポイントは子どもの心身の健康を守る小児科医や病気の原因を究明する小児医学医療研究者の育成、支援です。小児医療を取り巻く環境は極めて厳しいものがありますが、医療関係者が社会の支援をいただき両者の協力のもと、よりよい小児医療を実現できるよう願ってやみません。

Amid the outcry that we are experiencing a “collapse in the medical system,” from an international standpoint Japan boasts of high health standards with the lowest infant mortality rate and longest average (healthy) life expectancy in the world. On the other hand, Japan’s rapidly declining birthrate and fewer children is producing a shift to an unprecedented super-low birth and super-aging society. Abuse, bullying, and other issues are becoming recognized as social problems, and the sharp increase in school non-attendance and such psychosomatic disorders, juvenile crimes, and other children-related problems are becoming more serious than ever. Given these circumstances, the healthy upbringing of children is the only option for procuring the nation’s sustainable development and for contributing to the welfare of all humankind.

A child suffering from illness will depend the most on the support from both the family and the physician. In this respect, the Donald McDonald House activities operated by your organization and supporting the children suffering from illnesses and their families are now the most important contribution. It goes without saying that a key point in curing illness is the emotional security and health of the families of hospitalized children. Another important point is the development and support of the pediatricians who safeguard the physical and mental health of children and the pediatric medical researchers who investigate the cause of illnesses. The pediatric care situation is facing severe difficulties, and it is my hope that better pediatric care can be achieved under the cooperation of society’s support of medical personnel.

# House Information ハウス活動内容



Donald McDonald House 2009年の利用家族 2,959家族

# Donald McDonald House Setagaya

ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや

## ハウス情報

住所：〒157-0074  
東京都世田谷区大蔵2-10-10  
電話：03-5494-5534  
FAX：03-3749-2267  
延べ床面積：1,744.29m<sup>2</sup>  
規模：地上4階建て、地下1階  
ベッドルーム数：21室



## 施設概要

2001年12月に誕生した国内第1号の「せたがやハウス」は国立成育医療研究センターに隣接して建てられました。小児ベッド数が460床ある国立成育医療研究センターには、全国各地から患者が入院または通院しています。

## 2009年実績

利用家族数：726家族  
総宿泊数：6,242泊  
平均滞在日数：8.6日  
ボランティア登録者数：253名  
ボランティア活動時間数：17,417時間



2001年12月に開設されて以来、5,431家族、13,627の方が「せたがやハウス」を利用されています。患者さんは東京にとどまらず、遠くは北海道や沖縄県、時には外国から国立成育医療研究センター病院を紹介され、受診された方々です。子ども達やその親御さんが病気という試練に立ち向かうときには、家族がお互いを支えあうことが何よりも重要です。それが皆様の寄付や補助、そしてボランティア活動で支えられていることを誇りに思います。なぜなら病気を持つ子ども達に手を差し伸べることなくして、言いかえればすべての子どもを大切にするという理念なくして、わが国の明るい未来はないからです。一人でも多くの方がこの活動にご理解を示して下さることを祈念しています。

国立成育医療研究センター 病院長  
松井 陽

## 収支報告（単位：円）

### 収入

利用料	9,043,000
寄付金収入	1,752,051
会費収入	1,281,000
その他	189,273
財団補助額	15,462,012
合計	27,727,336

### 支出

給料手当	9,643,506
水道光熱費	5,926,133
租税公課	5,186,800
その他	6,970,897
合計	27,727,336

# Donald McDonald House Sendai

ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだい



当病院は、仙台市西部の緑に囲まれた静かなところにあります。子どもの病気も家族の生活の一環としてとらえ、「元気のできるファミリーホスピタル」を目指しております。

遠隔地から入院している子ども達が、ご両親・おじいちゃん・おばあちゃんと共に過ごしたり、手術の際、家族が待機したり、退院準備のためにご家族が宿泊したりするなど、病院だけではできない家族との日常生活、ふれあいを体験することができる「せんだいハウス」の存在はとても重要で、心から感謝しております。

宮城県立こども病院 副院長兼看護部長  
星野 悅子



## ハウス情報

住 所：〒989-3126  
宮城県仙台市青葉区落合 4-5-3  
電 話：022-391-1233  
F A X：022-392-5535  
延べ床面積：1,679.36m<sup>2</sup>  
規 模：共有棟（平屋建て）  
宿泊棟（2階建て）  
ベッドルーム数：16室

## 施設概要

2003年11月に誕生した国内第2号目の「せんだいハウス」は宮城県立こども病院のそばに建てられました。こども病院は160床あり、ハウスは主に東北地方からの患者家族が利用しています。

## 2009年実績

利用家族数：764 家族  
総宿泊数：2,139 泊  
平均滞在日数：2.8 日  
ボランティア登録数：169 名  
ボランティア活動時間数：11,509 時間



## 収支報告（単位：円）

収入	支出
利用料 3,125,000	給料手当 8,228,529
寄付金収入 1,676,670	水道光熱費 4,896,751
会費収入 657,000	租税公課 2,168,200
その他 194,730	その他 5,523,741
財団補助額 15,163,821	
合計 20,817,221	合計 20,817,221

# Donald McDonald House Kochi

ドナルド・マクドナルド・ハウス こうち

## ハウス情報

住 所：〒781-0111  
高知県高知市池 953-10  
電 話：088-837-3650  
F A X：088-837-3652  
延べ床面積：1,180.72m<sup>2</sup>  
規 模：平屋建て  
ベッドルーム数：16 室

## 施設概要

2005年2月に誕生した国内第3号目の「こうちハウス」は、同時期に開院した高知医療センターのそばに建てられました。高知医療センター内には母子医療センターがあり、ハウスには小児の患者家族が宿泊しています。

## 2009年実績

利用家族数：293 家族  
総宿泊数：1,464 泊  
平均滞在日数：4.9 日  
ボランティア登録者数：155 名  
ボランティア活動時間数：9,286 時間



大切な家族の一人が病気になり入院すると、ご家族の生活も様々な変化や制約を強いられることになります。病気の子どものケアと同時に、ともに生きるご家族の生活や健康が維持できるように支援することが重要です。病院のそばに、温かい人たちに支えられた安らぎの「ドナルド・マクドナルド・ハウス こうち」があることの幸せに、もっと多くのご家族、病院職員たちに気づいてほしいと思います。ハウスは、人のぬくもりが癒しと元気と勇気を与えてくれることを教えてくれます。



高知医療センター 看護局長  
久保田 加代子

## 収支報告（単位：円）

収入	支出
利用料	給料手当
寄付金収入	7,474,157
会費収入	水道光熱費
その他	租税公課
財団補助額	その他
合計	合計

# Donald McDonald House Osaka-Suita

ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた



国立循環器病研究センターは胎児期から小児、成人、高齢者の心臓病や脳血管系疾患（小児の場合、もやもや病など）の診断と治療を行うナショナルセンターです。小児患者用の病床は、乳幼児病棟を始め、7つの病棟に150床あまり整備され、医療のプロフェッショナルによって運用されています。胎児期と小児期の患者さんの住所地域をみると大阪府55%、隣接府県17%、遠方都道県29%となっています。「おおさか・すいたハウス」の利用者は、2005年10月の開設から延べ約2,000家族、5,000名に達しており、その利便性は今や、全国のたくさんのご家族に感謝されています。

国立循環器病研究センター 病院長  
友池 仁暢



## ハウス情報

住 所：〒565-0875  
大阪府吹田市青山台4-31-20  
電 話：06-6836-6551  
F A X：06-6831-7611  
延べ床面積：1,292.88m<sup>2</sup>  
規 模：共有棟（平屋建て）  
宿泊棟（2階建て）  
ベッドルーム数：18室

## 施設概要

2005年10月に誕生した国内4号目の「おおさか・すいたハウス」は、国立循環器病研究センターの向かい側に建てられました。国立循環器病研究センターは小児病院ではありませんが、全国から心臓病の患児が入院または通院に来ています。入院患者の家族の宿泊場所がなく困っていたことから病院および自治体からハウス建設の依頼を受け、ハウス建設が実現しました。

## 2009年実績

利用家族数：406家族  
総宿泊数：3,245泊  
平均滞在日数：8.0日  
ボランティア登録者数：233名  
ボランティア活動時間数：13,972時間



## 収支報告（単位：円）

### 収入

利用料	4,524,000
寄付金収入	1,656,467
会費収入	708,300
その他	714,827
吹田市補助金	3,936,520
財団補助額	13,459,585
合計	24,999,699

### 支出

給料手当	9,604,907
水道光熱費	3,911,410
租税公課	6,700,250
その他	4,783,102
合計	24,999,669

# Donald McDonald House Tochigi

ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ

## ハウス情報

住所：〒329-0434  
栃木県下野市祇園 2-36-3  
自治医大 2号館 3階  
電話：0285-58-7551  
FAX：0285-44-4154  
延べ床面積：652.9m<sup>2</sup>  
ベッドルーム数：7室

## 施設概要

2006年9月に誕生した国内第5号目の「とちぎハウス」は自治医大とちぎ子ども医療センターの向かい側に開設されました。とちぎハウスは、自治医科大学の建物の一部を無償でお借りし、県の補助金を使って大学側に内装整備していただいたニューモデルのハウスです。

## 2009年実績

利用家族数：379 家族  
総宿泊数：2,085 泊  
平均滞在日数：5.5 日  
ボランティア登録者数：171 名  
ボランティア活動時間数：10,894 時間



本学は地域医療の充実を目的として開学しました。自治医大とちぎ子ども医療センターも開学の理念に沿って運営されています。お陰様で利用してくださるご家族は順調に増え続け、2009年は北は北海道、南は鹿児島県からおいでいただきました。「とちぎハウス」は本学の理念を全国へ広げる大きな力になっています。そのうち飛行場が必要になるかもしれません。今後ともご支援の程を心よりお願い申し上げます。



自治医科大学 とちぎ子ども医療センター  
副センター長  
相原 敏則

## 収支報告（単位：円）

収入	支出
利用料	給料手当
寄付金収入	8,070,329
会費収入	水道光熱費
その他	その他
運営費負担金	
財団補助額	
合計	合計

# Donald McDonald House Sapporo

ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ



ハウスはふた冬を迎えました。特に北海道の厳しい冬の入院、通院、そして家族とのひとときの団欒に、ハウスはかかせない施設となっています。雪解け後の春にはハウスの芝生がいっせいに芽吹き、手稲山を背景に心安らぐ眺めとなります。200名以上のボランティアの方々の支援は、利用者の方々から多いに感謝されています。私たち医療者もハウスがあることで、安心して医療に専念できると考えています。



北海道立子ども総合医療・療育センター  
センター長  
工藤 亨

## ハウス情報

住 所：〒006-0041  
北海道札幌市手稲区金山1条  
1丁目2-5  
電 話：011-688-4533  
F A X：011-691-8866  
延べ床面積：994.2m<sup>2</sup>  
ベッドルーム数：10室

## 施設概要

2008年12月に誕生した国内第6号目の「さっぽろハウス」は北海道立子ども総合医療・療育センター（通称：コドモックル）の向かい側に開設されました。コドモックルは210床あり道内からの患者家族が利用しています。

## 2009年実績

利用家族数：391家族  
総宿泊数：2,085泊  
平均滞在日数：5.3日  
ボランティア登録者数：197名  
ボランティア活動時間数：14,113時間



## 収支報告（単位：円）

### 収入

利用料	3,132,000
寄付金収入	2,515,601
会費収入	201,000
その他	233,305
運営補助金	4,981,405
財団補助額	15,106,724
合計	26,170,035

### 支出

給料手当	7,380,038
水道光熱費	3,515,755
租税公課	7,613,700
固定資産取得費	4,000,000
その他	3,660,542
合計	26,170,035

# Messages from the Families ご家族からのメッセージ

永田 楓ちゃん  
2歳 北海道  
さっぽろハウス



最初は言葉も出てこなかったのに、今は少しだけ「パパ」「パパ」など言えるようになりました。病院に行く時は毎回ハウスを利用しています。たくさんのおもちゃがあるので、子どもが喜んでいます。

小林 優真くん  
12歳 栃木県  
せたがやハウス

病院に歩いて通える距離にあり、少しでもゆっくりと過ごすことができるハウスは、本当に便利で心強かったです。何より利用料が安く、長期入院での負担も軽く、本当に色々な意味で助けていただきました。

元木 陽菜ちゃん  
7歳 山形県  
せたがやハウス



重い白内障の手術後、眼鏡使用となりましたが、「僕、かっこいいでしょ?」と、眼鏡は自慢のようです。子どもの病状に対して不安な毎日の中、ハウスの方々の明るさ、あたたかさは救いでした。ありがとうございました。

松田 耀一朗くん  
6歳 兵庫県  
おおさか・すいた  
ハウス



現在は元気に保育園に通っています。ハウスは正直、宿泊代が安くて助かりましたし、病院と近かったのですぐ看病に行けました。また、スタッフの方々に心温かいお言葉をかけてもらい、心臓のカテーテル検査や心臓手術に対する不安が軽くなりました。

星 叶人くん  
3歳 栃木県  
とちぎハウス

おかげさまでこの4月から姉と同じ小学校に入学することになり、とてもはりきって新一年生になることを楽しみにしています。ハウスでは食堂などで、いろんな方と知り合いになれ、父母ともに随分、楽しく過ごさせていただきました。





武藤 依舞ちゃん  
3歳 千葉県  
せたがやハウス

今のところ後遺症がなく、以前と同じ生活を送っています。ハウスではボランティアの皆さんとやさしく話しかけてくださったり、他の家族との触れ合いが励みになったり、心が穏やかになったりと、とても有難かったです。

運動や食事に制限はありますが、マスクをして通学し、体調管理をしながらも今春、小学校を卒業しました！高度医療を受けるため、あるいは術後の検査入院で年に数回遠方から上京する私たちにとって、ハウスはありがたく、利用するたびに感謝しています。



山内 瑛斗くん  
12歳 沖縄県  
せたがやハウス



渡部 隼斗くん  
3歳 長野県  
せたがやハウス



和田 真路くん  
4歳 埼玉県  
せたがやハウス

現在、元気に母子通園しています。ハウスの部屋はとても清潔で気持ち良く過ごさせていただきました。2ヶ月の入院生活で少し疲れてしまった時は、受付にいらっしゃる方に「無理しないでね」と声をかけていただき、疲れが吹き飛びました。

病院にはよくお世話になっておりますが、地域のサークル、児童館に通えるようになり、体調が良い時は外で遊んだり、走り回ったりと、とても活発に男の子らしくやんちゃぶりを發揮しております。戦隊ものが大好きで、日々戦いっこに夢中です。

ICUにて治療中。近々またオペ予定です。生まれてからずっとNICU、ICUにいます。ハウスはとてもきれいでボランティアさんの対応もよく、くつろげました。

濱川 元輝くん  
1歳 宮城県  
せんだいハウス



# Volunteer Activities ボランティア普及活動

2009年はたくさんの学校や企業にハウスのことを知っていただき、ボランティア活動に参加していただきました。



## 介良中学校

高知市立介良中学校3年生の生徒さんが、こうちハウスで職場体験学習を行いました。清掃や事務ワークを体験し、「ボランティアに興味を持った」「コミュニケーションの勉強になった」と話してくれました。



## 海陽中等教育学校

愛知県蒲郡市海陽中等教育学校3年生有志の皆さんが、文化祭である「海陽祭」にて射的等のイベントを実施。その収益からハウスに寄付してくれました。「マクドナルドの店頭で案内などを見ていたので興味を持っていた」、「ぜひ病気の方々の、何かしらのお役に立ちたい」という、生徒の皆さんの強い意向によるものでした。後日おおさか・すいたハウスにて清掃などのボランティアも手伝ってくれました。



## 明治安田生命 保険相互会社

明治安田生命保険相互会社高知支社の皆さんが、こうちハウスで庭の手入れやハウス内の掃除などのボランティア活動をしてくださいました。毎年寄付をいただいていますが、今年は地デジ対応テレビなど、たくさんの物品も寄付してくださいました。





### 三井物産株式会社

三井物産株式会社の社員の皆さん、ボランティア活動をしに来てくださいました。手の届かない窓のガラス磨きや、エアコンの清掃などを行っていただきました。実際に訪問し、ハウスの活動をより深く理解できたとおっしゃっていました。



### 株式会社岡村製作所

オカムラ製作所の社員の皆さんは、2007年から毎年継続的にハウスのボランティア活動をされています。今年は草取り日和となり、予定していた時間をオーバーするぐらい一生懸命刈り取ってくださいました。



### 日本マクドナルド株式会社

日本マクドナルド株式会社の皆さん、『マクドナルドファミリーボランティアデー』として、3ヶ月に1度、せたがやハウスを訪問。キッチンの換気扇、床の清掃や喫煙室の壁磨きなどを行ってくださいました。



# Grant & International Exchange Programs

助成事業および国際交流、国内外研修派遣事業

## ■ボランティア活動費助成

条件：病気の子どもを有する家族のための滞在施設を支援しているボランティア団体

助成先	助成金額
たんぽぽハウス運営委員会	300,000 円
特定非営利活動法人スマイルオブキッズ	200,000 円
特定非営利活動法人ラ・ファミリエ	200,000 円
にいがたファミリーハウスやすらぎ支援の会	200,000 円
認定特定非営利活動法人ぶどうのいえ	100,000 円
パンタハウスを育てる会	100,000 円
旭川ファミリーハウス	100,000 円
助成総額	1,200,000 円

## ■国際交流・国内外研修派遣

条件：① 病気の子どもを有する家族のための滞在施設の運営にボランティアとして携わっている個人  
② 上記のボランティア活動を継続して1年以上実施している個人  
③ 過去3年以内に当財団の助成金を受け取っていない個人  
④ ハウス運営に関して学び、今後ハウス運営に貢献する意志のある個人

助成先	助成金額	助成先	助成金額
菊地 麻里	200,000 円	尾崎 里美	30,000 円
伊藤 園子	150,000 円	松永 操	30,000 円
伊藤 隆史	150,000 円	青木 節子	30,000 円
乙部 文子	30,000 円	井樋 治正	30,000 円
安立 奈央	30,000 円	真栄城 正美	30,000 円
片山 英一	30,000 円	宮城 稲子	30,000 円
百田 香奈	30,000 円		
助成総額			800,000 円

## アデレード(オーストラリア)のハウスを訪問して

アデレードのドナルド・マクドナルド・ハウスはオーストラリアで10番目のハウスとして2000年3月にオープンしました。 "The Woman's and Children's Hospital of Adelaide" から徒歩2~3分のところに位置し、10室のベッドルームが備わっていました。病気の重さや治療の長さによって、受け入れ家族の優先順位を決めていますが、常に満室状態で待っている家族も多くいます。

ボランティアは週1回の頻度で活動をしており、40あまりの仕事があります。新しいハウスを建てるための募金活動の支援(募金運動の趣旨説明)もその1つですし、時には患者の兄弟の学校の手配や、家族の衣類を車で運ぶ手助けなども、ハウスのスタッフとボランティアの仕事になります。

日本との大きな違いは、多くの患者がハウス内に滞在していることです。オーストラリアでは、「家族と一緒にいられる子どもは回復が早い」という研究結果があり、患者はハウスに滞在しながら学校や治療のために病院に通います。もちろん入院している患者は病院内にいますが、可能な限りハウスに滞在し家族と一緒に過ごします。ハウスに滞在が決まったときからハウスは家族にとって「家」「安全な宿泊場所」「地域社会」になるのです。

今回オーストラリアにて2つのハウスを訪問しましたが、福祉先進国と言われるだけのことはあり、オーストラリア国民の慈善活動に対する理解と意識の高さを感じることができました。今回の訪問でたくさんの人と出会いましたが、その出会いは自分自身のボランティアに対する姿勢や取り組み方について考え直すきっかけになったと同時に、これから活動に向けての大きな励みとなりました。これからもいつも笑顔でこの研修で学んだことをいろいろな場面で生かしていきたいと考えています。

伊藤 園子(ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや)



## おおさか・すいたハウスを訪問して



「ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」は住宅街からも病院からも近く、隣には大きな公園もある素晴らしい立地です。私の所属するこうちハウスの近辺には高知女子大のキャンパスと医療センターくらいしか目立つものはありませんから、必然的にまわりには関係者が多くなってしまいます。うまく言い表すことができませんが、おおさか・すいたハウスは「生活」のにおいがする環境の中にあるなあ…というのが第一印象でした。

おおさか・すいたハウスはボランティアの方々の人数が多く、コミュニケーションがよくとれており、何か問題が起これば率先して動くハウスマネージャーのもと、皆が力と恵を寄せ合い、解決されました。私もいろんな福祉団体などで仕事をしてきましたが、多くの団体にありがちな「ボランティアのためのボランティア」であるとか、「自己満足のためのボランティア」「自分のためのボランティア」という姿が、ここではいっさい見受けられませんでした。

高知と大阪では人口の母数に違いがあり、参加しているボランティアの人数に大きな差はありますが、今回の研修で学んだところをこうちハウスでも生かせるよう、ハウスマネージャーと話をしながら、今後のボランティア活動に組み込んでいきたいと思います。

片山 英一(ドナルド・マクドナルド・ハウス こうち)



## ジャーリーガー松坂大輔投手がハウスを訪問

1月13日(火)、米国メジャーリーグベースボール(MLB)で活躍中の松坂大輔投手(ボストン・レッドソックス)と、奥様でありフリーアナウンサーとして活躍されている柴田倫世さんが、せたがやハウスを訪問してくださいました。

病気のお子さんを持つご家族がどのような苦労をされているのか、実際に見てお話を聞きたいという夫妻の意向で訪問が実現しました。小さなお子さんがいらっしゃるお二人は、滞在されているご家族の気持ちを察しながらも、

気さくに「どちらからいらしたのですか」「応援

していますよ」と声をかけてくださいました。お子さんが病気になって地元から東京に出てこられ、毎日看病をされているお母さん達にとって、松坂投手、そして柴田さんの突然の訪問は大変励みになりました。病院にいるお子さん達へのサインも気軽に応じていただき、皆、大感激の様子でした。



## 記者懇親会

ハウスの認知度を上げるために、まず記者の方にハウスを知っていただきたいということで、6月にとちぎハウス、10月におおさか・すいたハウス、そして12月にさっぽろハウスにて記者懇親会を開催しました。

まず小児医療の現状について病院の先生にお話いただき、その後ハウスの概要や、これまでの活動報告についての説明を行い、最後に実際にハウスを利用されているご家族から、「ハ

ウスがあることでどのように助かったか」などお話をいただきました。

初めての試みでしたが、記者の方々にハウスの必要性をご理解いただく良い機会となりました。



## イ

### オン、幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加

スーパーマーケットのイオンでは、地域のボランティア団体支援のための社会貢献活動を行っています。各団体の活動内容を紹介している投函ボックスを店舗に設置。毎月 11 日、店側が黄色いレシートをお客様に渡すと、お客様はそのレシートを応援したい団体のボックスへ入れます。するとレシート記載合計額の 1% 相当に相当する、希望の品物が各団体に寄贈されます。

2009 年 5 月より、イオン仙台泉大沢ショッピングセンターの投函ボックスに「せんだいハウス」を加えていただき、毎月 11 日の黄色いレシートキャンペーンの日にはハウスの PR 活

動を行っています。ハウスの活動をご理解いただいた大勢のお客様が、私たちのボックスに黄色いレシートを投函してくださいました。

ハウスの存在を以前から知っていた人、まったく知らなかった人など様々でしたが、地域の皆様にハウスを知ってもらう良い機会となりました。



## 七

### 夕の飾りつけ

7月 22 日（水）、札幌市手稲区にある山王幼稚園の園児 34 名が、七夕の飾りつけをするためにさっぽろハウスに来てくれました。

この日のために年長さん 172 名が、病気と闘う友達を勇気づけようと、「早く元気になってね」という願いを込めた短冊を書き、飾りを作ってくれました。また入院中の患者さん達も短冊に願いごとを書いてくださいましたが、残念ながらハウスに来ることができなかっただため、園児たちが代わりに飾りつけしてくれました。七夕飾りのついた笹の木で、ハウス内は「七タムード」一色でした。

また七夕で有名な仙台でも、子ども達が七夕の飾りつけをしてくれました。こちらは毎年恒例の行事となっており、せんだいハウスに一番近い、町内の子ども会が手伝

ってくれました。仙台七夕には欠かせない笹竹の七つ飾り、「吹流し」や「巾着」などを彩り鮮やかな和紙で作成。ハウスに滞在中の兄弟も参加し、入院中の子ども達が願いごとを書いた短冊を笹竹に飾りつけました。完成した七夕は玄関口でご家族のお出迎えをしました。



高

## 橋ジョージさん&三船美佳さんがハウスを訪問

テレビなどで活躍されている高橋ジョージさん、三船美佳さんご夫妻が、11月10日(火)、せたがやハウスを訪問してくださいました。

せたがやハウスに隣接している国立成育医療研究センターで出産された三船さんは、以前からハウスのことはご存知でしたが訪問するのは初めて。実際にハウスをご覧になって、「病院のすぐ側にこんなに明るくてあたたかいハウスがあることは

素晴らしい。もっともっとたくさん増えるといいですね」と話してくださいました。

お二人はハウスを利用しているご家族を励まされ、ハウス内で活動しているボランティア皆さんに声をかけてくださいました。



よ

## り子チャリティーライブ

シンガーソングライターのより子さんが10月24日(土)、「ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ」でチャリティーライブを行ってくださいました。

2歳から6歳まで小児がんを患い、多くの時間を病院で過ごしてきたより子さんは、ハウスの存在を知り、「病気の子どもが頼りにするのは家族。家族は少しでも病気の子どもを支えようとする。そんな家族を助けるドナルド・マクドナルド・ハウスを、自分のライブをきっかけにみんなに知ってもらいたい」と、ライブの開催を申し込みました。

当日はより子さんのファンの方や一般の方、ハウスで活動されているボランティアの方など

62名の方がお越しくださいました。ハウス内のリビングルームで行なったため、距離感をほとんど感じない空間でのライブとなり、会場内が熱気に包まれました。より子さんは、「ほんとはね。」など6曲を披露。力強い歌声に、観客の皆さんは感動していました。

自分の体験を交えながらのトークでは、「お母さんの辛い顔、疲れた顔を見るのが一番辛かった。絶対にハウスのような場所は必要!」と話してくださいました。集まったチケット代は経費を除いて、全額ハウスへ寄付されました。



## 深

### 堀圭一郎プロが訪問

7月27日(月)、プロゴルファーの深堀圭一郎さんがさっぽろハウスを訪問してくださいました。「せたがや」「せんだい」「こうち」「おおさか・すいた」に続いての訪問です。

試合の開催地にハウスがあれば、必ず訪問してくださる深堀プロは、ハウスにとって心強いサポーターです。「すごく充実していくきれいなハウスですね」と話してくださいました。

当日はハウスを利用しているご家族やボランティアの方からのサインに気軽に応じていただき、皆さん感激の様子でした。

深堀プロは毎年行なわれてい

るチャリティーゴルフにも参加し、チャリティーの輪を広めてくださっています。

いつも応援してくださりありがとうございます。



## 清

### 塚信也スペシャルピアノコンサート

11月18日(水)、横浜みなとみらいホールにて「清塚信也スペシャルピアノコンサート」が行なわれました。このコンサートはドナルド・マクドナルド・ハウスの支援を目的に企画され、ハウスの趣旨にご賛同くださったピアニスト、清塚信也さんとの協力のもと、実現に至りました。

清塚さんは国内外のコンクールで数々の賞を受賞。大人気ドラマ「のだめカンタービレ」の吹き替え演奏を行なった注目度ナンバーワンの若手ピアニストです。このコンサートのために書き下ろしたオリジナル曲を含め、全10曲を演奏してくださいました。

この日は近隣の特別支援学級の子ども達やピアノが好きな小学生

100名、さらに過去にハウスを利用されたご家族が招待されました。皆さん演奏だけでなく清塚さんのおもしろいトークも楽しんでいたようです。

チケットの売り上げの一部や当日の募金など、301,681円が当財団に寄付されました。



## 楽

### 天の岩隈投手とクリスマスの飾りつけ



12月7日（月）、楽天イーグルスの岩隈久志投手がせんたいハウスを訪ねてくださいました。

岩隈投手は、以前からこども病院や児童養護施設を訪問して積極的にこども達を支援しており、ハウスからの呼びかけに応えてくださる形で訪問が実現しました。

岩隈投手は、病気と闘う子ども達にクリスマスを楽しんでもらおうと、ハウスに滞在する家族や入院している子ども達



と共にオーナメントを作成、クリスマスツリーの飾りつけを行いました。

岩隈選手が登場すると同時に子ども達はニコニコ顔になり、岩隈投手の大きな手が子ども達の小さな手を優しく包んでいました。

完成したクリスマスオーナメントと岩隈投手からのメッセージボードはツリーに飾られ、ハウスのリビングでキラキラと輝いていました。参加した子ども達には、ひと足早いクリスマスプレゼントとなりました。



## 第

### 11回ドナルド マクドナルド ハウス チャリティゴルフ

毎年恒例のチャリティゴルフが今年も戸塚カントリー倶楽部にて行われ、プロゴルファー40名を含め、160名の方がご参加くださいました。今年はいつもご参加いただいている企業の方に加え、さまざまな方面の方々がご参加くださいました。ミュージシャンの大黒摩季さんや伊東たけしさん、向谷実さん、さらに生島ヒロシさん、森末慎二さんがプレーに参加され、パーティーの司会には進藤晶子さんとドナルドが駆けつけてくれました。毎年参加人数も増え、

多くの方々にサポートいただいていると実感できる大会となっていました。

今年は秋葉真一プロのチームが優勝し、プレー後のパーティーも大盛況でした。今回のチャリティゴルフでは7,199,840円のご寄付を頂戴しました。皆様いつもご支援いただきありがとうございます。



「で

## つかくなっちゃった！」



宮城県出身のタレントのマギー審司さんが、せんせいハウスを応援するためにチャリティーイベントを開催してくださいました。

地域の方にもっとせんせいハウスを知つていただきようとしたチャリティーイベントも、さとう宗幸さん、サンドウィッシュマンさんに引き続き、今年で3回目。気仙沼出身のマギー審



司さんをお迎えし、始めから終りまで笑いが絶えないイベントになりました。

マギーさんは参加した子ども達を相手に、巧みなトークを繰り広げながら面白いマジックを次から次に展開。後半にはおなじみの「でつかくなっちゃった！」のネタも披露。ラッキー君登場でさらに会場が笑いでいっぱいになりました。

ライブ終了後には参加者全員でじゃんけんゲームを行い、サイン色紙がプレゼントされました。

ハウスに滞在していたあるご家族は「あんなに笑ったのは久々です」と話してくださいました。



E

## T-KINGさん、Kさん、初音さんがクリスマスソングをプレゼント！

12月24日(木)のクリスマスイブ、おおさか・すいたハウスに素敵なお手本クロースが来てくれました。アーティストのET-KINGさん、Kさん、初音さんです。

FM OSAKA の呼びかけで実現した今回の訪問ですが、参加された3組のアーティストは「ぜひハウスを訪問したい！」と自ら手を挙げてくださいり、せっかくのクリスマスを病院やハウスで過ごさなくてはならないご家族のために、素晴らしい歌声を披露してくれました。どのアーティストもご家族を励ましてくださいり、とても温かな気持ちになる一日をプレゼントしてくださいました。

いました。

ハウス訪問の様子は、FM OSAKA "Happiness!!"で紹介され、多くの方にハウスの存在を知つていただくよい機会となりました。

ご参加されたアーティストの皆様、そしてFM OSAKA の皆様、これからもハウスの応援よろしくお願いいたします！



## 厚

### 生労働省より感謝状を受贈

10月27日(火)、当財団は厚生労働省より感謝状を受贈いたしました。

日本全国6カ所のドナルド・マクドナルド・ハウスの開設・運営、難病・重病の子どもを支援するボランティア団体等への活動費助成、海外のドナルド・マクドナルド・ハウスへの研修派遣など、1999年の財団設立より10年間にわたり、日本の小児医療やボランティア育成に寄与してきたことが評価されたものです。



## ケ

### ヤキのふくろう贈呈式

9月11日(金)、チェーンソーカービングの世界チャンピオン、栗田宏武さんが作成した“ケヤキのふくろう”的オブジェの贈呈式を行いました。

贈呈いただいた“ケヤキのふくろう”は、50年前に仙台の復興を願って植林されたケヤキを用い、栗田さんにより製作されたものです。

ケヤキは2008年1月、地下鉄工事に伴い

伐採されましたが、このケヤキに手で触れ、これを「心で感じることができ、形あるものにして後世へ伝えてゆきたいと考えた方々により、「ぼくたちの百年の

杜プロジェクト」が立ち上げられました。そしてこのプロジェクトに賛同した栗田さんは、伐採されたケヤキに新しい命を吹き込み、未来の子ども達への願いを込め、「福をもたらす」と言われる“ふくろう”を作成されました。

病気と闘っている子ども達とその家族を、この“ふくろう”で勇気づけたいと思われた栗田さんは、せんだいハウスに贈呈してくださいました。

後日、ハウスに滞在している子ども達にふくろうの名前を募集したところ、ボランティアの方に一番人気だったのが「ぽぽちゃん」でした。8歳の女の子が名づけ親となりました。

福をもたらす「ぽぽちゃん」は、今日もせんだいハウスでご家族を見守っています。



## チ ャリティーパーティー

10月27日(火)、ドナルド・マクドナルド・ハウスのチャリティーパーティーが開催されました。

日頃よりハウスをご支援いただいている企業はもちろん、ハウスのよき理解者である医療関係者やハウス運営をサポートしていただいているボランティアの方の参加もあり、357名の方にお集まりいただきました。

パーティーの最後には、8年前にせたがやハウスを利用して以来、現在も外来時にはハウスに滞在されている松尾さんご家族にお越し

いただき、患者である有紗ちゃんとお母さんの三千代さんにお手紙を読んでいただきました。家族がそばにいることの大切さ、そして親として最大限のことを子どもにしてあげたいという気持ちが会場にいらした皆様に伝わり、改めてハウスの必要性が実感される場面となり、会場からは大きな拍手があがりました。

多くの皆様のご協力で5,297,875円のご寄付を頂戴いたしました。



## す ぎはら美里さんがハウスをサポート!

Mint姉弟として「エンタの神様」で活躍されていたすぎはら美里さんが3月24日、せたがやハウスを訪問してくださいました。

現在タレントとして活躍されていますが、チャリティー活動にも興味を持たれており、自身がMCを務めるお笑いライブ「ミリタリーチャリティライブ」を通じて、ドナルド・マクドナルド・ハウスの応援をしてくださいました。

実際にハウスを訪問されたすぎはら美里さんは、ハウスに滞在されているご家族やお子さんを励ましたり、プレイルームで遊んでいた赤ちゃんに優しく声をかけ、抱っこをしたり、ご家族の様子を興味深そうに聞いたりしていらっしゃいました。

「全国に仲間がたくさんいるので、みんなに

声をかけ、何らかの形でハウスを支援していくたいと思います。本当にこういう施設は必要ですよね」と趣旨にも共感してくださいり、最後はボランティアの方にこれからも頑張ってくださいとエールを送ってくださいました



# Others いろんなサポート

## 日本ロレアル 株式会社



せたがやハウスでは、毎月、日本ロレアル株式会社の社員の皆様によるハンドマッサージボランティアが行われています。

ハウスの利用者やボランティアの方々が、専門のタッチセラピストからマッサージを受け、“癒しのひととき”を過ごされています。「肌がスベスベになった!」「気分転換になってよかったです」と喜ばれるご家族も多く、大変好評です。

またハウスで行われた夏のバーベキュー大会ではくじ引きを担当してくださり、ロレアル製品をたくさんご提供くださいました。

## 札幌アカシヤ ライオンズ クラブ

札幌アカシヤライオンズクラブの例会にて、「入院している子どもとその付添家族が利用できる滞在施設『ドナルド・マクドナルド・ハウス』について」というテーマで、ハウスの紹介をさせていただきました。

これをきっかけに、同クラブの皆様はハウスへのサポート方法をご検討くださいり、2年間にわたる除雪費、およびトイレットペーパーのご提供をしてくださることになりました。

雪が多く、常に除雪を行なっているさっぽろハウスにとって非常にありがたいサポートとなりました。



## 株式会社 タカヤマ



循環経済社会構築への貢献を目指して事業を展開し、マクドナルド社の廃棄処理を行っている株式会社タカヤマは、処理した廃棄物から作った肥料を利用して、タイでお米を作っています。今年は30kg程度のお米を玄米の状態で日本に輸入し、精米されたそうです。このお米をぜひ、ハウスを利用されているご家族に食べていただきたい、ということで精米されたお米10kgをせたがやハウスに届けてくださいました。

ハウスでは自炊をされるご家族も多く、皆さん大変喜ばれました。

## JA 仙台



設立10周年を迎えたJA仙台が仙台市内で記念フェスタを開催。得た収益金と職員の皆さんの募金、そして品評会に出品したお米110キロをせんだいハウスに寄付してくださいました。また新入社員研修の一環として、栽培した無農薬の野菜を定期的にハウスに持ってきてくださっており、ご家族の皆様にご提供いただいています。

## レモンガス 株式会社

レモンガス株式会社は、毎年「レモンガス・アクアクララ・チャリティーゴルフ」を開催し、ドナルド・マクドナルド・ハウスをサポートしてくださっています。

今年集まったチャリティー金はなんと916,000円。

毎年このようにご支援してくださっていることに感謝いたします。



# Messages from Supporters 応援メッセージ

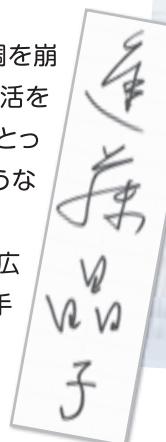


進藤 晶子

おおさか・すいたハウスにお邪魔しました。明るく、解放感のある室内に加え、ボランティアの皆さんの温かい笑顔に包まれ、ずっと留まっていたい気持ちになりました。

私は今年で母親業4年目ですが、子どもが体調を崩すたび周囲のサポートに救われています。闘病生活を送るお子さんはもちろん、そのご家族の皆さんにとつても、ハウスの存在は救いであります“お守り”のようなものなのでしょう。

近い将来、日本全国にハウスが広まり、国内で広く認知されるために、微力ではありますが私もお手伝いできればと願っています。



私のクリニック日白 院長  
平田 雅子

家族の具合が悪くなると、みんな心配。ことに小さいお子さんの入院だと心が痛みます。ずっと離れずに、そばにいてあげたい。治療のため、専門の病院にかかるのに遠くからいらしている方もたくさんいらっしゃいます。治療は長くかかることもあります。付き添いのご家族の負担が少しでも減るように、ドナルド・マクドナルド・ハウスが全国にたくさんできることを祈っています。

私のクリニックにも募金箱を置かせてもらっています。元気な子どもたちに感謝して、病気の子どもたちを守るHouseに協力したいと思います。





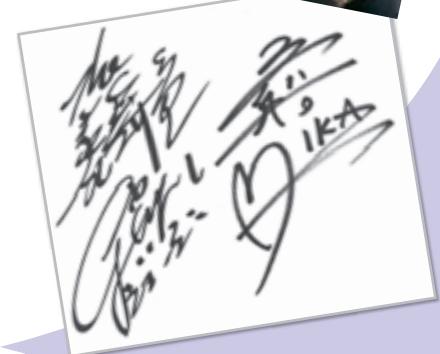
## 高橋ジョージ・三船美佳

私たちは、せたがやハウスを訪問し、杉並区立和田小学校での「心育教室」に参加させていただきました。

ハウスを利用している親子の方々ともお話することができ、闘病の大変さとハウスの重要性を実感しました。

また和田小学校では、難病と闘っている子ども達が沢山いる事と、支えあう事の大切さをお話させていただく機会に恵まれました。子ども達と一緒に折ったおりづるには、思いやりと元気が一杯つまっていたのではないかと思います。

今回、初めてドナルド・マクドナルド・ハウスの活動を知りましたが、一企業がこのような活動を支援していることに大変感銘を受け、私たちも子を持つ親として、これからも皆さんと一緒に、ハウスの活動を応援していきたいと思っております。



## 阪神タイガース 城島 健司

シアトルマリナーズ時代、他の選手が積極的にチャリティー活動を行なっている姿を見て、私もシアトルにあるドナルド・マクドナルド・ハウスを訪問し、病気と闘っているたくさんの子ども達に会ってきました。またシーズンオフには日本のハウスを訪問し、退院したばかりの子どもとキヤッチボールをしました。ハウスで出会った子ども達はみんな輝いていて、どの子どもも笑顔でした。

子どもが病気をすると、親はどんなことをしても最善の治療を受けさせたいと思うことは当然です。そのためにいろんなことを犠牲にし、親は子どものそばに付き添います。親がそばにいてついているから子どもは安心して治療に専念し、早く元気になろうと頑張ります。そんな家族を支援しているハウスは本当に素晴らしいと思います。

子どもを持つ親として、これからもハウスの活動を応援していきます!



# Financial Report 決算報告

正味財産増減計算書

平成21年1月1日から平成21年12月31日まで（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1 基本財産運用収入	6,981,012	4,001,298	2,979,714
2 ハウス事業収入 宿泊料収入 運営補助金収入 その他の収入	39,796,476 25,071,000 12,910,925 1,814,551	32,206,370 23,025,000 7,405,273 1,776,097	7,590,106 2,046,000 5,505,652 38,454
3 寄附金収入 寄附金収入（マクドナルド） 寄附金収入（サプライヤー） 寄附金収入（一般） 募金収入	229,415,877 44,323,983 44,199,091 65,444,039 75,448,764	234,771,750 82,498,210 31,731,403 32,566,874 87,975,263	△ 5,355,873 △ 38,174,227 12,467,688 32,877,165 △ 12,526,499
4 会費収入	3,645,359	3,013,629	631,730
経常収益計	279,838,724	273,993,047	5,845,677
(2) 経常費用			
1 事業費 (1) ハウス事業運営費 給料手当 光熱水料費 租税公課 減価償却費 その他の経費 事業関連経費 ボランティア普及費	226,357,776 224,357,776 51,204,629 23,769,670 21,782,750 53,715,595 28,941,389 42,153,893 2,789,850	189,598,366 187,278,366 40,847,905 20,505,204 14,725,053 46,763,262 27,319,830 34,996,112 2,121,000	36,759,410 37,079,410 10,356,724 3,264,466 7,057,697 6,952,333 1,621,559 7,157,781 668,850
(2) ボランティア事業 ボランティア助成費 ボランティア研修費	2,000,000 1,200,000 800,000	2,320,000 1,200,000 1,120,000	△ 320,000 0 △ 320,000
2 管理費 給料手当 旅費交通費 会議費 通信運搬費 消耗品費 謝金 雑費	32,316,212 23,111,341 2,986,620 774,507 310,207 429,124 867,000 3,837,413	46,926,934 35,392,662 4,795,434 616,148 45,640 918,718 903,000 4,255,332	△ 14,610,722 △ 12,281,321 △ 1,808,814 158,359 264,567 △ 489,594 △ 36,000 △ 417,919
経常費用計	258,673,988	236,525,300	22,148,688
当期経常増減額	21,164,736	37,467,747	△ 16,303,011
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
配当収入 その他収入	450,000 726,851	450,000 24,500	0 702,351
経常外収益計	1,176,851	474,500	702,351
(2) 経常外費用			
有価証券評価損 指定正味財産への振替額 経常外費用計 当期経常外増減額 当期一般正味財産増減額 一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 指定正味財産増減の部 一般正味財産からの振替額 当期指定正味財産増減額 指定正味財産期首残高 指定正味財産期末残高 正味財産期末残高	315,000 522,680,900 522,995,900 △ 521,819,049 △ 500,654,313 2,542,780,343 2,042,126,030 522,680,900 522,680,900 0 522,680,900 2,564,806,930	1,005,000 0 1,005,000 △ 530,500 36,937,247 2,505,843,096 2,542,780,343 0 0 0 0	△ 690,000 522,680,900 521,990,900 △ 521,288,549 △ 537,591,560 36,937,247 △ 500,654,313 522,680,900 522,680,900 0 522,680,900 2,542,780,343

貸借対照表

科 目	当 年 度	前 年 度	平成21年12月31日現在 (単位:円)	
			増	減
I 資産の部				
1 流動資産				
現金	1,267,167	1,517,088	△ 249,921	
普通預金	89,361,562	42,128,525	47,233,037	
郵便貯金	17,489,195	55,835,231	△ 38,346,036	
未収金	0	0	0	
流動資産合計	108,117,924	99,480,844	8,637,080	
2 固定資産				
基本財産				
基本財産定期預金	300,000,000	300,000,000	0	
基本財産土地	222,680,900	222,680,900	0	
基本財産合計	522,680,900	522,680,900	0	
特定資産				
ハウス建設積立資金	220,000,000	200,000,000	20,000,000	
特定資産合計	220,000,000	200,000,000	20,000,000	
その他の固定資産				
建物	1,609,480,619	1,655,160,572	△ 45,679,953	
構築物	13,592,231	10,819,435	2,772,796	
什器備品	18,056,560	23,339,001	△ 5,282,441	
ソフトウェア	3,293,061	4,498,136	△ 1,205,075	
電話加入権	76,440	76,440	0	
建設仮勘定	42,932,400	0	42,932,400	
定期預金	0	0	0	
投資有価証券	26,685,000	27,000,000	△ 315,000	
その他の固定資産合計	1,714,116,311	1,720,893,584	△ 6,777,273	
固定資産合計	2,456,797,211	2,443,574,484	13,222,727	
資産合計	2,564,915,135	2,543,055,328	21,859,807	
II 負債の部				
1 流動負債				
預り金	108,205	274,985	△ 166,780	
流動負債合計	108,205	274,985	△ 166,780	
2 固定負債				
固定負債合計	0	0	0	
負債合計	108,205	274,985	△ 166,780	
III 正味財産の部				
1 指定正味財産	522,680,900	0	522,680,900	
(うち基本財産への充当額)	(522,680,900)			
2 一般正味財産	2,042,126,030	2,542,780,343	△ 500,654,313	
(うち特定資産への充当額)	0	(522,680,900)		
(うち特定資産への充当額)	(220,000,000)	(200,000,000)		
正味財産合計	2,564,806,930	2,542,780,343	22,026,587	
負債及び正味財産合計	2,564,915,135	2,543,055,328	21,859,807	

財産目録

科 目	金 額	平成21年12月31日現在 (単位:円)	
		資 産	負 債
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現 金	現金手許有高 1,267,167		
普通預金	みずほ銀行新宿新都心支店 228,079		
みずほ銀行成城支店 5,268,509			
社の都信用金庫宮城町支店 1,834,334			
四国銀行高須支店 1,728,646			
りそな銀行千里北支店 578,707			
足利銀行自治医大出張所 647,822			
三井住友銀行麹町支店 72,637,288			
北海道銀行新川中央支店 3,387,177			
多摩信用金庫西国分寺支店 3,051,000			
郵便貯金	17,489,195		
流動資産合計		108,117,924	
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	あおぞら銀行本店 300,000,000		
土 地	東京都世田谷区大蔵 222,680,900		
基本財産合計	522,680,900		
(2) 特定資産			
ハウス建設積立資金	定期預金 200,000,000		
ハウス建設積立資金	普通預金 20,000,000		
特定資産合計	220,000,000		
(3) その他の固定資産			
建 物	宿泊施設 1,609,480,619		
構 築 物	ハウス看板等 13,592,231		
什器備品	家財及び事務機器等 18,056,560		
ソフツウェア	会計ソフト及びオペレーティング 3,293,061		
電話加入権	施設設置電話 76,440		
建設仮勘定	ふちゅうハウス 42,932,400		
投資有価証券	マクドナルド株式 26,685,000		
その他の固定資産合計	1,714,116,311		
固定資産合計		2,456,797,211	
資 产 合 计			2,564,915,135
II 負債の部			
1 流動負債			
預 り 金	源泉所得税 108,205		
流動負債合計		108,205	
負債合計			108,205
正味財産			2,564,806,930

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について  
その他の有価証券 …決算日の市場価格等に基づく時価法  
(売却原価は総平均法により算定)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却について  
建物、構築物、什器備品及びソフトウェア…定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土地	222,680,900	(222,680,900)	0	0
定期預金	300,000,000	(300,000,000)	0	0
小 計	522,680,900	(522,680,900)	0	0
特定資産				
ハウス建設積立資金	220,000,000	0	(220,000,000)	0
小 計	220,000,000	0	(220,000,000)	0
合 計	742,680,900	(522,680,900)	(220,000,000)	0

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	1,830,835,784	221,355,165	1,609,480,619
構 築 物	19,856,672	6,264,441	13,592,231
什器備品	61,101,922	43,045,362	18,056,560
ソフトウェア	6,839,128	3,546,067	3,293,061
合 計	1,918,633,506	274,211,035	1,644,422,471

### 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

名称ならびに交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
運営補助金(自治医大)	0	3,993,000	3,993,000	0
運営補助金(吹田市)	0	3,936,520	3,936,520	0
運営補助金(RMHC)	0	4,981,405	4,981,405	0
合 計	0	12,910,925	12,910,925	0

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	222,680,900	0	0	222,680,900
定期預金	300,000,000	0	0	300,000,000
小 計	522,680,900	0	0	522,680,900
特定資産				
ハウス建設積立資金	200,000,000	20,000,000	0	220,000,000
小 計	200,000,000	20,000,000	0	220,000,000
合 計	722,680,900	20,000,000	0	742,680,900

# Board of Directors, Councilors and Selection Members

## 役員・選考委員の紹介

役職	氏名	所属
理事長	開原 成允	国際医療福祉大学 大学院医療福祉学研究科 大学院長
専務理事	廣瀬 修	清泉女子大学 理事
常務理事	島田 浩三	常勤
理事	大野 晃	森永乳業株式会社 代表取締役会長
	村上 陽一郎	学校法人東洋英和女学院大学 学長
	鶴橋 誠一	スターゼン株式会社 代表取締役会長
	有村 治子	参議院議員
	ダニエル・H・セイヤー	日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長
	大楠 忠男	フジパングループ本社株式会社 代表取締役専務
	横山 利夫	AIU 保険会社 日本における代表者 CEO
	炭谷 茂	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長（元環境事務次官）
	好本 一郎	日本マクドナルド株式会社 上席執行役員
	二村 隆章	公認会計士
監事	吉野 賢治	公認会計士
	西村 由美子	オーガストネットワークインク 代表
	残間 里江子	プロデューサー
	矢島 尚	株式会社プラップジャパン 取締役会長
	ジェフリー・マクニール	Market Makers Inc. 代表取締役社長
	宮田 佳代子	フリーキャスター
	後藤 亘	株式会社エフエム東京 取締役相談役
	柳澤 正義	国立成育医療研究センター 名誉総長
	大熊 由紀子	国際医療福祉大学大学院 教授
	南 砂	読売新聞東京本社 編集委員
	佐多 保彦	東機貿グループ各社 代表取締役社長
	安田 隆之	日本マクドナルド株式会社 上席執行役員 管理部門担当
	岡野 弘明	日本マクドナルド株式会社 コーポレートリレーション本部 CSR部長
評議員	柳澤 正義	国立成育医療研究センター 名誉総長
	堀口 雅子	虎の門病院産婦人科 元医長
	丸木 一成	国際医療福祉大学 医療経営管理学科 教授
	栗山 真理子	NPOアレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」専務理事
選考委員		



# Our Supporters サポーター紹介



日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長

ダニエル・H・セイヤー

Daniel H.Sayre

Representative Director & President, Coca-Cola (Japan) Co., Ltd.



ザ コカ・コーラカンパニーは、世界各国でドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズの活動を支援しております。日本でも設立当初より同財団の活動を支援させていただいていることは私たちの誇りでもあり、心から光栄に存じております。私どもはこれからも財団の活動支援を通じて、地域社会に根ざした企業市民として「いつでも。どこでも。だれにでも」さわやかさとうるおいをご提供してまいりたいと願っております。

We are proud of and it is our great honor to support the Donald McDonald House Charities Japan, in the same way that we support our valued partner, Donald McDonald House Charities, globally. Through this support, we will continue to pursue our mission through refresh people "anywhere, anytime, everybody," through the country, as a corporate citizen rooted in local communities nationwide.



日本マクドナルド株式会社 代表取締役会長兼社長兼CEO

原田 泳幸

Eikoh Harada

Chairman, President and CEO, McDonald's Company (Japan), Ltd.



ドナルド・マクドナルド・ハウスは1974年にアメリカ・フィラデルフィアで誕生しましたが、マクドナルドは当初よりメインスポンサーとしてこの活動をサポートしてまいりました。この間、マクドナルド以外にも多くの企業や個人の方々の情熱と善意がハウスを支え、現在に至るまでその精神は受け継がれています。

現在日本では7カ所のドナルド・マクドナルド・ハウスが運営され、合計100室が、病気で入院されているお子さんのご家族に利用されています。一方、日本全国で病気と闘っている子どもの数は20万人ともいわれており、このような施設はまだまだ不足している状況です。

日本のチャリティー文化は、欧米のそれに比べまだまだ成熟度が低いというようなことを時折耳にしますが、マクドナルドはこれからも、ドナルド・マクドナルド・ハウスを支援していくと同時に、「チャリティーの心」も伝えていきたいと思います。一人でも多くの企業・個人の方々がこの支援の輪に加わって下さるよう、切に願っております。

The first Donald McDonald House was opened in 1974 in Philadelphia, U.S., and from the start, McDonald's has been a main sponsor in supporting their activities. During this time, the Houses have been supported by the enthusiasm and goodwill of a great number of companies and individuals in addition to McDonald's, with that spirit being carried on to this day.

There are currently 7 Donald McDonald Houses in operation in Japan, with a total of 100 rooms in use for hospitalized children and their families. However, there are 200,000 children suffering from illness in Japan, meaning that there is still a lack of such facilities.

Japan's charity culture is said to be still at a low degree of maturity when compared to the U.S. and Europe. McDonald's intends to continue supporting the Donald McDonald Houses, while at the same time also passing on the spirit of charity. It is my sincere hope that many more companies and individuals will join our efforts to support these activities.



スターゼン



## Gold Sponsors

日本マクドナルド株式会社  
日本コカ・コーラ株式会社

## Silver Sponsors

株式会社イナ・ベーカリー  
エコラボ株式会社  
グリフィス・ラボラトリー株式会社  
ケンコーマヨネーズ株式会社  
札幌アカシヤライオンズクラブ  
スターゼン株式会社  
株式会社匠  
有限会社竹伸商会  
デルマール株式会社  
東京コカ・コーラボトリング株式会社  
フクダ電子株式会社  
株式会社富士エコー  
フジパングループ本社株式会社  
有限会社ベルエキップ  
三井物産株式会社  
森永乳業株式会社  
Cargill Meats (Thai Land) ,Ltd.  
J.R. SIMPLOT CO.  
Rose Packing Company,INC

## Bronze Sponsors (企業)

株式会社アートコーヒー  
有限会社相京フーズ  
株式会社アクセセンス・テクノロジー  
有限会社アビリティ  
株式会社アメリカ  
株式会社アルゴ  
有限会社アルファイン  
植田製油株式会社  
株式会社ウエル企画  
エイベルホーム株式会社  
株式会社SWキッチンテクノ  
株式会社NHKエデュケーションナル  
株式会社エフエム大阪  
株式会社エフエム東京  
桜蔭学園高校10回生有志  
王子パッケージング株式会社  
大阪市立大学医学部附属看護専門学校37期生  
有限会社オカダ  
オキコ株式会社  
花王プロフェッショナルサービス株式会社  
カゴメ株式会社  
株式会社キートス  
有限会社キタムラ  
株式会社喜戸コーポレーション  
有限会社キノシタ  
株式会社キューソー流通システム  
株式会社グランツ  
コカ・コーラウエストジャパン株式会社  
コカ・コーラセントラルジャパン株式会社  
株式会社小松崎  
佐賀県農業共同組合富士町統括支所  
佐久浅間農業共同組合  
株式会社札幌フードシステムズ  
ザ・パック株式会社  
讚陽食品工業株式会社  
株式会社ジェイアール  
ジェラード・バトラー40thバースデイチャリティ  
パーティin東京参加者一同  
西南開発株式会社  
株式会社仙台にしむら  
仙台農業協同組合  
タイコヘルスケアジャパン株式会社  
大同印刷株式会社  
株式会社貴久  
有限会社タカコーポレーション  
株式会社ディジタルアシスト  
株式会社電通  
利根コカ・コーラボトリング株式会社  
有限会社トムセカンド  
Pat & Julie Donahue  
トモプロ株式会社  
株式会社ドリーム

株式会社中西製作所  
株式会社名古屋光商事  
日本チャンキー協会  
日本ハム株式会社  
社団法人日本ショッピングセンター協会  
日本テレビ放送網株式会社  
新村印刷株式会社  
株式会社ノモト  
有限会社ハーベスト  
株式会社バーベン  
株式会社ハマ  
株式会社ビジョナリー・ライズ  
(YMCメディカルトレーナースクール横浜校)  
株式会社ピッグタイム  
ヒロフーズ株式会社  
株式会社ファクトリージャパン  
有限会社フォース  
フォンテラジャパン株式会社  
福岡大同青果株式会社  
株式会社フジカワ  
株式会社フジクラコンポーネンツ  
富士プロート株式会社  
ブルーマチックジャパン株式会社  
株式会社フロム東海  
株式会社豊昇  
北海道立保健福祉部道立病院管理局  
有限会社ホット・ショット  
医療法人松井内科医院  
株式会社マツダ  
株式会社マルマサフード  
三国コカ・コーラボトリング株式会社  
ミップ株式会社  
マイク・ア・フレンド株式会社  
明治乳業株式会社  
メロディアン株式会社  
株式会社山善  
株式会社遊  
理研ビタミン株式会社  
リフレッシュ  
レクシスネクシス・ジャパン株式会社  
レモンガス株式会社  
有限会社ワイ・アンド・シー・アリガ  
The Cardinal Foundation  
HAVI Global Solutions株式会社

(五十音順)

## Bronze Sponsors (個人)

池内 廣子	竹内 志保
岩崎 優	玉井 克明
上嶋 直美	長瀬 淑子
薄井 康成	成田 伸
小川 寛秀	野崎 久晴
開原 成允	野中 圭樹
加藤 清信	原田 泳幸
川上 あづさ	原本 俊則
川野 靖典	深堀 圭一郎
北田 善保	北東 哲也
紀平 訓江	松村 佳代
境 洋子	向 宏志
坂本 澄子	村田 雅夫
澤村 幸恵	森田 純子
島田 浩三	森山 愛由子
下平 篤雄	山形 亮
杉 貴子	山中 智子
杉本 容	好本 一郎
鈴木 勇二	力丸 宏邦
瀬名 秀明	渡邊 寛之
千田 武爾・和代	渡邊 洋一
滝口 富美子	Pat & Julie Donahue
滝口 八代八	(五十音順)



公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

〒163-1339 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 39 階

TEL : 03-6911-6068 FAX : 03-6911-6198

<http://www.dmhcj.or.jp>